



学校だより

令和元年 9月 2日
練馬区立田柄第二小学校
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-ky.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-ky.ed.jp

教育目標: 元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.499

2学期のスタート

校長 谷田 弘子

今日から2学期が始まりました。44日間の夏休みが終わりましたが、今年の夏も7月終わりから酷暑が続き、大変暑い中で水泳指導が行われましたが、無事に終了することができました。水筒持参や高学年では早朝よりの送り出しなど、ご協力ありがとうございました。今日元気に登校してきた子供たちは、一回り逞しく成長した姿や日焼けした顔から、夏休みが楽しかったことが分かりました。

毎年のことですが、長期休業中に教室や廊下、階段などの一斉清掃が行われ、ワックスがけされてピカピカになっています。また、防火扉の総取り換えや廊下の張替え工事も行われました。教室には大型のテレビと実物投影機が配置されました。こうしたきれいに整った環境やICT環境の中で学校生活を始めてほしいと思う先生方や用務の皆さんの思いが詰まっています。きれいに使っていききたいと思います。

さて、今年の夏、久しぶりに札幌に行ってきました。8月の初旬に行ったので、札幌は北海道とは思えない暑さが続いていました。私は昔から、北大の雰囲気が好きで、今年も尋ねてみました。札幌駅から出ると、すぐ北海道大学の広大な敷地が広がります。大学の敷地の中に、クラーク博士の銅像があり、いつも観光客が集まっています。この銅像には、「少年よ、大志を抱け」という言葉が刻まれています。クラーク博士は、アメリカの教育者であり札幌農学校の教頭を務めた方です。クラーク博士が札幌農学校に招かれたのは1875年。わずか8か月の在任でしたが、学生たちに大きな影響を与え、後にクラーク博士の銅像がつくられました。クラーク博士は、

「少年よ、大志を抱け」の言葉に次のように付け加えています。「少年よ、大志を抱け。それはお金のためではなく、自己の利益に対してでもなく、また世の人が名声と呼ぶあのむなしいもののためでもない。人はいかにあるべきか、その道を全うするために、少年よ、大志を抱け。」クラーク博士の願いは、金銭にとらわれたり、自分の利益だけを考えたりするのではなく、人間としてあるべき姿を実現するために大志を抱けということだったのです。

今、社会ではさまざまな問題が起きています。例えば、うその情報で人を騙したり、自分に有利なように事実を曲げたりする大人がいます。その一方で、ノーベル賞やスポーツ選手の記録更新など、さわやかな感動を与えてくれる大人もいます。若い選手の活躍が、大雨の被害にあった人たちを大いに勇気付け、癒してくれます。このことを例にとって考えてみると、お金や自分の利益のみに走ることがいかに問題かが分かります。一方、夢や希望をもって自分の道にひたすら汗を流し、人間としてあるべき姿を求めながら生きている人のすばらしさが理解できると思います。

2学期の初めには各教室で一人一人が目標を立てていきます。小さな目標も、大きな目標も、その実現のために努力するのは自分です。自分のステップアップのために、自分の目標を立て、一步一步努力して行くことが実現のための唯一の道なのです。

これからの変化の激しい時代では、偏った考えや私利私欲では、私たちの人生を切り拓くことはできません。常に「人間としてかくあらねばならぬ」という誇りを忘れることなく、大志を抱いて前進してほしいと思います。

